

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 9月

2022.9

0. はじめに

秋晴れのすっきりとした天気が少しずつ戻り、虫の音が響く季節になって参りましたが、保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍による外出規制も緩やかになり、活動できる時間も多くなりましたので、生徒たちの生活も少しずつ変化してきているようです。

今回は、4月にスタートした新学年も半年が過ぎ、いよいよ新しい段階に進みますので、これからお考えいただくポイントをいくつかご紹介いたします。ご家族で時間を取って話し合ってくださいと思います。

1. 大学入試の変化を感じていますか？

2022年度入試が終わって、様々な分析や検討が行われた結果が、ネット上を賑わせております。今年の3年生がチャレンジする2023年度入試は、これまでに無いいくつかの変化が見られますので、十分に情報を集めてご検討いただきたいと思います。また、1・2年生の保護者の方々も、このような変化を肌で感じていただき、時間をかけてご検討いただきたいと思います。

①私立大学の定員厳格化が緩和されました

数年間にわたり、首都圏の大規模大学では定員厳格化の影響を受けて合格者が出しにくい状況が続いていましたが、これが緩和され、大きな話題となっています。このことは、今後の志願者数に大きく影響し、首都圏大学の難易度が上がる（難化する）と予想されます。また、この結果、地方国公立大学の倍率が下がる可能性も指摘されています。

②少子化の影響から学部学科再編へ → 一括募集の増加へ

少子化が進んでおりますが、大学は増設され、誰でも大学に入れる時代に突入しました。どの大学も「少しでも優れた学生を取りたい」と願っているため、大学再編の動きが活発化しています。魅力あるキャッチフレーズ、様々なサポート体制など、言葉巧みに広報しております。

最も注意が必要なのは、学部学科の再編により一見すると定員が増加しているように見える場合で、特に多くの学科をまとめて「一括募集」に切り替え、定員数を増やしているように見える場合です。実際には30+30+40+70だった学科募集を一括して150人募集としています。これは20人減少しています。しかも、一括募集で入学後、2年生から専門課程に振り分ける際に、一年時の成績順に希望分野を割り振るケースが増えており、希望していない分野に回されてしまう学生も出てきております。

大学生になったら、自由な時間がたくさんあって、アルバイトもたくさんできる??という時代ではなくなってきました。十分に情報を収集し、家族で話し合う時間を大切にしてください。

③入試日程の確認を

特に例年と変わりませんが、入試の名称や種類が多様化してきていますので、どのような受け方がよいのかを見極める必要があります。国公立大学にも、前期・中期・後期だけで無く独自日程を持つ大学がありますし、私立大学では、同じ学部を5回も受験できるケースがあります。お金のかかることですので、十分にご検討ください。

2. 3年生この時期

あと半年になりました。共通テスト出願の校内締め切りも終了し、準備は万全です。これからは、生徒一人一人が、自分の可能性を最大限に引き出す努力の日々となります。10月末までに、外部模擬試験の進研模試（マーク・記述）、全統模試（マーク・記述）が終了しますと、そのデータをもとに、大学ごとの合格判定が検索できるようになります。データが出そろうのは受験後約1ヶ月後になりますので、11月末をお待ちください。

保護者の皆様には是非お願いしたいのは、「本校生の成績の伸びは、最後まで続く」という応援です。これまでの本校生の例を分析しますと、12月・1月になって大きな伸びを見せる生徒も少なくありません。「焦りが最大の敵」です。時間がないという焦りが、落ち着いた勉強を妨げます。先輩たちも同じ道を通った、と考えてどっしりと構えてお子様の頑張りをサポートしていただければと思います。よろしくお祈りします。

3. 2年生この時期

高校生活の半分が経過し、部活動でも学校生活でも中心的な役割を担う立場になってきました。進路についても、模擬テストが3教科型から5教科6科目型に変わり、本格的に志望校を考える時期になりました。2学期末には、来年度の進学先の希望調査に基づき、「コースを選択」する必要があります。この選択によって、3年次のクラス分けや授業内容に違いが出てきますので、大きな選択になります。そして、その選択の基準になるのが、志望大学の選択です。文型・理型は、変更できませんが、受験したい大学によって「国公立コース」と「私立コース」のいずれかを選んでいただきます。この希望調査は、2学期末に2回（の予定で）行われますので、ご家族で十分に話し合っておいてください。

本校では、私立クラス・国公立クラスという分け方ではなく、国公立大学志望者のみのクラスと混合クラスが予定されています。部活動に全力で取り組みながらも、受験を意識した準備が必要になってきます。お子様の進路希望を理解し、よく話し合ってください。

4. 1年生この時期

高校生の生活にも慣れ、部活動と勉強のバランスも取れてきたことと思います。初めて、全国模試の結果を見て驚いている生徒も多いと思います。中学校での学習や試験の成績は、あくまでも中学生の段階のものであり、高校生のそれは全く別物です。模擬テスト結果シートをご覧になりながら、学習への取り組み状況をご確認ください。

2年生同様に、1年生も2学期末までに次年度の準備が始まります。2年生からは、文型・理型を選択し、授業内容も大きく変化しますので、慎重な判断が必要です。得意な科目を中心に選ぶのではなく、将来の選択（志望校の選択）につながる判断が必要です。学習する内容も2年生から一気に難しくなりますので、1年次の得意科目だけで判断するのは危険です。大学の受験科目や大学進学後も必要な知識・教養を考慮して、じっくりとお考えください。まだ4ヶ月の時間がありますので、不明な点は、遠慮無くお尋ねください。（3学期はじめに最終決定します）

5. 終わりに

毎回申し上げておりますが、進学するためだけに高校生活があるわけではありません。学校生活を通じて、将来につながる様々な経験を積み、青春の短い時間を輝かせながら、未来を切り拓く力を身につけてほしいと願っております。

そのために大切なのが、「仲間」「保護者」「教員」の協力体制です。ともに高め合う仲間を得て、温かく見守り支援していただける保護者のもと、適切な指導と情報提供ができる教員が協力していく体制を築くことが、何よりも大切です。お子様の希望をできるだけ叶えられるよう、全力で支援して参りたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

進路指導部